

新型コロナワクチン接種の進捗状況等について

1 県内のワクチン接種の進捗状況

12月12日時点において、12歳以上人口に占める2回目接種率は約9割となっており、11月末までに希望する県民への1・2回目接種が概ね完了した。

【接種実績（12月12日時点）】

接種済回数	県内の状況	
	1回目	2回目
2,001,737	1,008,336	993,401

・県内の12歳以上人口約111万7千人のうち、**1回目接種は90.3%、2回目は88.9%**が終了。
 ・県内の全人口約122万1千人のうち、**1回目接種は82.6%、2回目は81.4%**が終了。

2 3回目接種体制確保の進捗状況

(1) 医療従事者接種の開始状況

12/13時点で、9市町が医療従事者の3回目接種を開始している。

【医療従事者接種の開始見込時期（12/13時点）】

（出所）県医療政策室調べ

開始時期	市町村数	開始時期の詳細
開始済	9市町	・12/1……一関市、平泉町 ・12/6……宮古市、花巻市 ・12/13……釜石市、二戸市、一戸町
12月中旬に開始予定	5市町	・12/13の週 大船渡市、久慈市、矢巾町 ・12/20の週 八幡平市、雫石町
1月中旬に開始予定	19市町村	

(2) 前倒し接種への対応

国では、感染防止に万全を期す観点から、優先度に応じて、できる限り前倒しするとの方針を示しており、今後、県や市町村では、前倒し接種の詳細が分かり次第、対象者が速やかに接種できる体制を構築していく。

(3) 3回目接種に係るワクチンの供給見込み

県内には、令和4年1月末までの接種に必要なワクチンとして約5万2千回分のファイザー社ワクチンが供給済み。（11/15の週及び11/22の週）

今後、12月中旬から2月上旬にかけて、令和4年2月及び3月分のワクチンとして、ファイザー社が約20万1千回分、モデルナ社が約16万8千回分、計36万9千回分が供給予定となっており、接種間隔8か月を前提とした場合は、必要な量のワクチンが確保できる見込み。

【本県へのワクチン供給見込み】

（単位：回）

種別	R3.12月～R4.1月	R4.2～3月	前倒し接種分
ファイザー社	52,650	201,240	現時点で、国からの供給見通しは示されていない。
モデルナ社	—	168,300	
計	52,650	369,540	
接種対象人数 （接種実績による推計）	約5.0万人	約36.0万人	—

3 ワクチン接種証明書のデジタル化について

(1) 概要

現在、紙での交付が行われているワクチン接種証明書について、今般、国が12月20日にリリース予定のアプリにより、二次元コード付きの電子交付及び国内における利用も可能となるもの。

(2) 仕様

ワクチン接種記録システム（VRS）と連携したアプリに、マイナンバーカードやパスポート（海外用のみ）を読み込むことにより、電子申請及び電子交付が可能となるもの。

※スマートフォンのiOS13.x以降もしくはAndroid OS8.x以降に対応

【画面イメージ】



(3) 活用方法

ワクチン接種証明書は、海外渡航用に限定して発行していたが、アプリ運用開始後は、日本国内での利用を目的とした取得も可能になるとのこと。

(4) 県内の対応状況

県内では、接種証明書の電子交付の導入に関して、全市町村の同意が得られたことから、電子交付を希望する全ての県民が利用可能となるもの。

(5) その他

アプリ運用開始後も、日本国内における接種事実の証明としては、予防接種済証等（撮影画像も可）が引き続き利用可能であること。